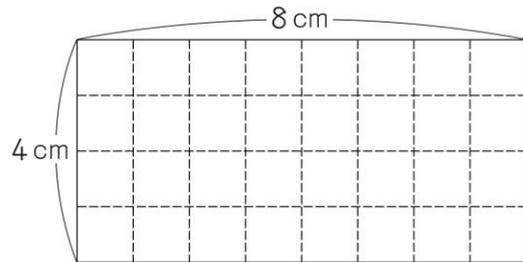


活用シート14	問題用紙	年 組 番	名前
---------	------	-------	----

答えは、解答用紙の解答らんにかいとうに書きましょう。

(一) くみさん、つよしさん、ゆうたさん、あいこさんは、右の長方形の面積を4等分する方法を考えました。



1 くみさん、つよしさん、ゆうたさんの3人は、自分が考えた方法について、それぞれ次のように説明しました。



くみ

たてが2 cm、横が4 cmの合同な長方形4つに分けました。



つよし

はじめに、面積の等しい2つの正方形に分け、次に、たてが2 cm、横が4 cmの合同な長方形2つと、底辺が4 cm、高さが4 cmの合同な直角三角形2つに分けました。

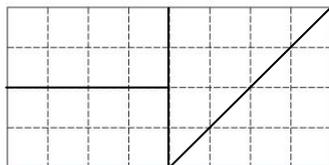


ゆうた

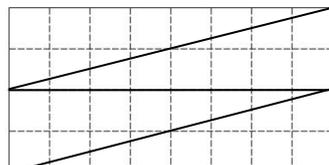
底辺が8 cm、高さが2 cmの合同な直角三角形4つに分けました。

3人の説明にふさわしい図を次のア～ウの中から1つずつえらんで、その記号を書きましょう。

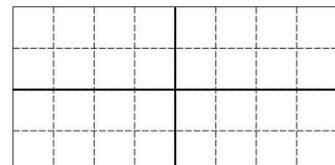
ア



イ



ウ

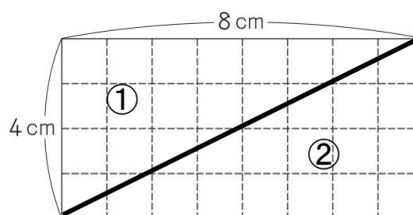


2 あいこさんは、次のように説明しました。

【あいこさんの説明】

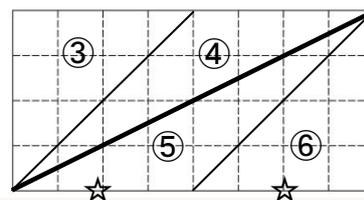
(1) はじめに、**図 1**のように、対角線をひいて、長方形を2つに分けました。

**図 1**



(2) 次に、**図 2**のように、対角線の両はしから、長方形の横の辺のまん中まで線をひき、4つの三角形に分けました。

**図 2**



あいこさんの説明で、長方形の面積を4等分できるわけを次のようにまとめました。

**ア**には当てはまる言葉を、**イ**～**エ**には当てはまる数を書きましょう。

**図 1**の対角線で分けられた直角三角形**①**と**②**は**ア**だから、面積が等しくなり、どちらも長方形の面積の $\frac{1}{2}$ です。

**図 2**の三角形**⑤**と**⑥**は、☆の部分の底辺とすると、どちらも底辺が**イ** cm、高さが**ウ** cmだから、面積が等しくなり、どちらも長方形の面積の**エ**です。

また、同じように考えると、三角形**③**と**④**の面積も等しくなり、どちらも長方形の面積の**エ**です。

だから、長方形の面積を4等分することができます。

(二) とおるさんは、次のサービス券<sup>けん</sup>を使って、A～Dのシャツを何枚か<sup>まい</sup>買います。

<b>サービス券①</b> A～Dのどのシャツも、1枚につき300円ずつ安くします。	<b>サービス券②</b> A～Dのシャツを3枚買うと、その中でいちばん安いシャツを1枚 <sup>むりょう</sup> 無料にします。
※ サービス券①、②を同時に使うことはできません。	

			
シャツ A 1100円	シャツ B 1300円	シャツ C 1500円	シャツ D 1700円

- 1 サービス券①を使ってシャツAとシャツBを1枚ずつ買うと、代金はいくらになりますか。答えを書きましょう。
- 2 サービス券①を使って5枚のシャツを買うと、定価で買うより代金は何円安くなりますか。答えを書きましょう。
- 3 シャツA、シャツB、シャツCを1枚ずつ買うとき、次のア～ウに当てはまる番号や数を書きましょう。

サービス券 <input type="text" value="ア"/> を使うと、サービス券 <input type="text" value="イ"/> を使うときより、代金が <input type="text" value="ウ"/> 円安くなります。
--

- 4 サービス券②を使って3枚のシャツを買ったとき、合計の代金は3000円でした。そのうち1枚がシャツDだったとすると、<sup>のこ</sup>残りのシャツはどれとどれですか。考えられる組み合わせを2つ書きましょう。ただし、同じシャツをまとめて買ってかまいません。

月 日

活用シート14	かいとう 解答用紙	年 組 番	名前
---------	--------------	-------	----

(一)

1	くみ	つよし
	ゆうた	
2	ア	イ
	ウ	エ

(二)

1		円
2		円
3	ア	イ
	ウ	
4	【組み合わせ】	

よくがんばったね。  
しっかり見直しをして、力を付けていこう！



(一) 1 くみ ウ つよし ア ゆうた イ

2 ア 合同 イ 4 ウ 4 エ  $\frac{1}{4}$

(二) 1 1800 円

2 1500 円

3 ア ② イ ① ウ 200

4 【組み合わせ】

(Dと) AとB、(Dと) BとB

【2の答えの解説】

サービス券①は、1枚につき300円安くなるから、  
 $300 \times 5 = 1500$  (円) です。

【3の答えの解説】

サービス券①を使うと、 $300 \times 3 = 900$  (円) 安くなります。

サービス券②を使うとシャツAが無料になって、1100円安くなります。

だから、サービス券②の方が200円安くなります。

【4の答えの解説】

1700円のシャツDを買ったから、 $3000 - 1700 = 1300$  (円)  
 で、残りのシャツのうち1枚は1300円(シャツB)です。

サービス券②はいちばん安いシャツが無料になるので、最後のシャツ  
 は1300円以下と分かります。だから、シャツAかシャツBです。